技術概要書(様式)

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コス	スト ICT 品質	(該当する分類に〇を付けてください)
技術名称	フラットキャップ	担当部署	
NETIS登録番号	KK-11058-A	担当者	川中 一博
社名等	災対新技術研究会	電話番号	0736-64-8099

技術の概要 1. 技術開発の背景及び契機

地山補強工における鉄筋挿入工では、従来より地表面に接地した定着板をナットで締め付け、 (締付け部の余長として100mm必要)頭部保護のため、頭部防錆処理キャップで覆っていました。 地表にとびだした部分が、落石や車両等の接触など外部からの損傷を受けやすく、法面の保守 作業時の障害となっていました。また、護岸に使用した場合では、河道の流下能力の支障となって いました。このようなことから、経済性、耐久性、周辺環境への適応性がより向上する製品の開発 が求められていました。

2. 技術の内容

地山補強工の鉄筋挿入工(ロックボルトエ)の頭部をスッキリとしたうつくしい景観に!

- 補強材の余長が不要で、頭部の突出が無くなります。
- 頭部処理材料は、フラットプレート(薄さ25mm)内に収まります。

3. 技術の効果

- 補強材は頭部締付け部の余長が不要となり、材料長を短くできます。
- ・頭部処理材料はフラットプレート内に収まるので、頭部防錆処理キャップが不要となります。
- ・地表部がとびださないので、外部からの損傷を受けにくく、 法面の保守作業時に障害になりません。
- ・地表部がとびださないので、護岸に使用した場合にも河道の流下能力の支障となりません。

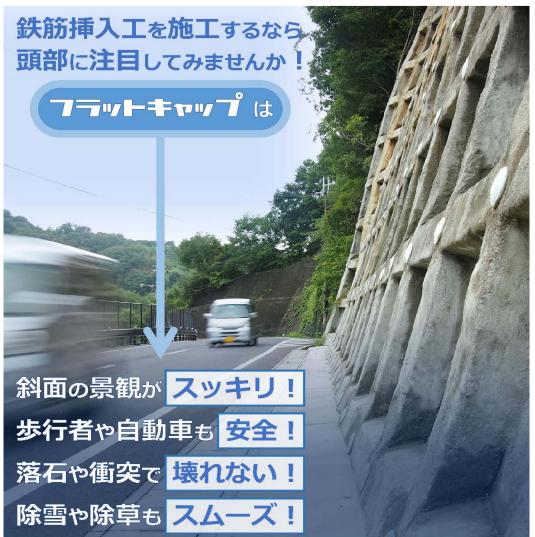
4. 技術の適用範囲

- ・地山補強工における鉄筋挿入工(ロックボルト工)の頭部処理に使用します。
- ①適用可能な範囲
- 鉄筋挿入工(ロックボルトエ)の頭部処理の全てに適用が可能。
- ②特に効果の高い適用範囲
- ・とびださないので、鉄筋挿入工で地表部の突出が支障となる場合に効果が高い。
- ③適用できない範囲
- 従来の鉄筋挿入工(ロックボルトエ)と同等。

5. 活用実績

国の機関 15 件 (九州 5件 、九州以外 10件) 220件(九州 20件 、九州以外 200件) 自治体 20件 (九州 0件 、九州以外 20件) 民間

6. 写真 · 図 · 表





Γ フラットキャップ いさぼう で 検索。



🛂) 災対新技術研究会

〒640-0405 和歌山県紀の川市貴志川町岸宮433 TEL 0736-64-8099 FAX 0736-64-8889

Email: saitai@ia6.itkeeper.ne.jp HP: http://isabou.net/ssg